

早急な治水対策事業を

**問** 蟹田川の改修が、ここ数年停滞している。田原地区をはじめ上流部の川井地区の冠水対策を早急に進めるべきでは。

**答** 蟹田川河川改修は彦島大橋掛け替え後、松橋川との合流部まで順調に進んでも10年程度かかる。県と連携を密にして前倒しを働きかけたい。また、松橋川の改修も川井西ポンプ放流口まで、10年間の工事期間が見込まれる。

**問** 袋井駅南（小川町など）浸水問題も、全体の改修には総額61億円が見込まれている。何年をめどに全体を完成させるつもりか。

**答** 令和3年度に事業計画を策定し、令和4年度から測量調査や用地補償調査、地質調査など事業着手し、10年で効果が出るようにしたい。



令和元年10月12日 台風19号による水害（彦島地区）

待機児童の抜本対策を

**問** 令和2年度1662人の保育定員を令和3年には1974人と312人の増員をしてもまだ待機児童が予測されている。抜本対策を望むが。

**答** 保育ニーズに 대응するには、民間の小規模保育施設（0歳から2歳児）の新設を支援するとともに、すべての公立幼稚園をこども園化していくことが必要と認識している。

本定例会では、コロナウイルスと闘う医療従事者に対して感謝と激励の気持ちを示していくことが大切と考え、市議会での意思表示として「新型コロナウイルス感染症に係る誹謗中傷等の根絶に関する決議」を可決しました。

新型コロナウイルス感染症に係る誹謗中傷等の根絶に関する決議

新型コロナウイルス感染症は、静岡県内においてもクラスターが頻発、続発するなど感染拡大が続いており、市民は、先行きが見通せない不安を抱えた生活を余儀なくされている。

このような中、病魔と闘う感染者及び最前線で治療にあたっている医療従事者並びにこれらの家族などが、SNS等の様々な情報媒体によって、不当な差別や偏見、心ない誹謗中傷を受けるなど、人権を脅かす事例が残念ながら多数発生している。

こうした行為は当事者を深く傷つけ、平穏な社会生活を送る妨げになるのみならず、医療従事者の疲弊にもつながり、医療体制の崩壊を招きかねない。また、誹謗中傷等を恐れて感染者等がその行動歴や濃厚接触者等の情報提供を拒めば、さらなる感染拡大を招く要因となることも懸念されている。

新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染し、誰もが気づかぬうちに他人に感染させる可能性があること、誹謗中傷等は決して許されない卑劣な行為であること、そして誰もが誹謗中傷等の被害者にも加害者にもなり得ることを改めて周知するとともに、市民一人一人が正確な情報に基づいて、冷静で思いやりの気持ちを持って行動することが求められている。

よって、本市議会は、新型コロナウイルス感染症に係る差別や偏見、誹謗中傷を断固として許さず、その根絶に向けて全力を挙げて取り組んでいく。

以上、決議する。  
令和3年2月22日

袋井市議会

